

「松風会 News

ゆめクラブ News 470 号 2025 年（令和 7 年 9 月号）

暦の上では秋の到来ですが、依然として猛暑の真夏日の続く中であって集中豪雨が発生するなど目まぐるしく変転する今日この頃です。会員の皆様におかれては如何お過ごしでしょうか。夏から一足飛びで冬の到来が予測され、心身の備えはおろか身の整理も追いつかない最悪の状況が惹起しそうです。このところ九州地方で集中豪雨の甚大な被害が発生していますが、いずれも短時間の集中豪雨で日頃からの備えが必須です。既報のとおり、海外からの訪日外国人が月を追って多数来日してきています。京都、大阪、北海道などの観光地にお出掛けの際には、マスクの着用、帰宅時の手洗い、嗽など励行しましょう。コロナの再来、油断禁物です。

9 月度定例会(21 日、土、10:00～11:30)は開催します。 万障お繰り合わせの上、大勢のご出席をお願いいたします。併せて、食事会を予定していますので、お誘い合せて多数ご参加下さい。

1. 8 月度定例会（9 日、土、10：00～11：30） 出席者 20 名 （定員 44 名）

- ① 全員で「クラブ松風会の歌」を斉唱。
- ② 誕生会：当月は 池田富士夫さん、内田孝志さん、橋本和子さん の方々です。おめでとうございます。（内田さん、橋本さんは欠席）池田さんからは「会員の皆様のお役に立ちたいとの思いで日々を過ごしております。当会員の平均年齢が 84 歳と高齢になっており、健康面を含め日々の過ごし方についてもキメ細かい相談を承っていきたい。」とのお話がありました。
- ③ 9 月誕生の方々： 那須弘子さん、森 郁子さん、西谷昭夫さん の方々です。おめでとうございます。
- ④ 当月の余興：1 班担当で矢田さんによる市内の植物（主として花）の見どころの紹介、「お酒」の講釈、認知機能テスト資料等について懇切丁寧な紹介がありました。
- ⑤ 9 月の担当：2 班の担当になりますので、準備方よろしくをお願いします。

2. 連絡事項

- ① 9 月定例会は「松風台まつり」(9/14) の関係で 21 日（日） になります。また、食事会も予定しておりますので参加の確認をお願いします。
- ② 老人クラブ大会 10/6（日）詩吟グループ参加（茅ヶ崎市民文化会館）

戦 争 に 想 う

浦 嶋 稔

この 8 月で我が国の敗戦から 80 年が経過、昨今、多くのメディアは先の戦争について論評しているが、戦争の経過とその後の国際関係に言及しているのが大多数で、戦争勃発の原因と予防に関する記述が少ない。資源の少ない我が国で、近代産業の急拡大を急いだ結果、特に石油、鉄鉱石など基礎資源の輸入を急拡大する必要に迫られたが、米国からの禁輸事情もあって、近間の東南アジアに矛を向け、結果として侵略する格好となったことが直接の原因となった。今もウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナが戦争状態にあるが、先般来、米国が停戦の仲介の労を取っているが、何よりも当事者間による話し合いが大前提であろう。我が国の先の戦争の場合を察するに、為政者が米国という大国（資源、人材、国土とも）に敢然と戦争を仕掛けるという大胆さに驚かされるが、まさに井の中の蛙そのものであったと言えよう。非戦、避戦状態に如何にして持っていくかを外交交渉でトコトン詰めることが唯一の解決方法であろう。「問答無用」、「唯我独占」的な心情では非常時に最適改善策は生まれないことは自明であろう。遠回りでも第 3 者など多数の叡智を集めて最善策を選び、実践に移すことが大事である。

日 々 を 大 切 に 生 き よ う

私が 70 歳の時、松風台社協の機関紙「ひだまり」に「5,000 日」というコラムを載せたことがあった。70 歳の余命は、14 年、日数にして約 5,000 日しかないから、健康に注意し、趣味やボランティアで楽しく有意義に過ごそうと書いた。その私は今年で 87 歳になった。5,000 日はとうに過ぎている。87 歳の余命を調べたら、あと 5.5 年と出てきた。日数にすると約 2,000 日しかない計算になる。死ぬ前に病気や認知になるのが一般的であるので、それを 3 年とすると残った健康寿命は、3 年弱になってしまう。元気で何かができるのはあと 1,000 日しかない計算になる。こんなことを考えていると人生が悲観的になってしまう。100 歳まで生きる人が増えているので、余命のことを考えるのはやめようという気持ちになった。年金ももらえるし、生きていれば、楽しいことが沢山ある。老後はつらいことも多いが、それは運命と思って忘れようと思うようになった。だが楽しむためには、心身共に健康でなければならないが、これは大変難しい。残った時間が少ないなら、認知になっても、足腰が弱くなっても、もたもたして歩けるようなら、楽しいことをどんどんやるべきであろう。観劇でもよいし、散歩でもよいし、絵を描いたり楽器をいじったり、パソコンでも庭や畑いじりでもよい。また酒を飲むのもよいし、友達と麻雀やカラオケをして憂さを晴らすのもよい。独り身の人で友達がいないければ、まず友達づくりから、始めよう。

著名な経営者であった土光敏夫氏が書いた「経営の行動指針」の中に「日に新たなり、日々に新たなり」という言葉がある。「人々に与えられたのは今日しかない。過去は戻ってこないし、明日は突然死ぬかも知れない。だから今日をどう生きるかが重要である」と述べている。高齢者にとって人生は短いから、一日一日が大切である。「日々新たなり」の気持ちで、お互い貴重な一日を楽しく、有意義に過ごしたいと思う。今回で、老人福祉講座を終了します。長い間お読みいただき有難うございました。（了）

雑 学 サ ロ ン

- ① 世界最大の植物は 1992 年に米国モンタナ州で発見の「アルミラリア」というキノコ。東京ドームの 3 個分。
- ② 昭和 29 年、東京ーサンフランシスコ間の飛行運賃は 234,000 円、今の価値で約 500 万円。
- ③ 日本人で初めてネクタイを結んだのは ジョン万次郎(中浜万次郎一通訳者)で鉄道や蒸気船に初めて乗った。
- ④ マンホールの蓋がずれても穴に落ちないから。名前の意味は 人が入る穴。
- ⑤ 3 週間使った歯ブラシと便器の滞留水では歯ブラシの方が 80 倍もの細菌がいる。(バケツ 9 杯分の汚水に匹敵)

(写真) 1 班の矢田さんの講釈を聴講しているところ



⑨ 昔、酒豪 今はシラフで 千鳥足

⑧ 万歩計 歩数伸びても 距離伸びず

⑦ 味のある 字と褒められし 手の震え

⑥ 人生に 迷いはないが 道迷う

⑤ 持て余す 暇を余裕と 言い聞かす

④ 証人が 一人もない 武勇伝

③ 医者と妻 急にやさしくなる 不安

② デイサービス 「お迎えです」は止めて欲し

① 耳遠く オレオレ詐欺も 困り果て

シルバー川柳 白井重之選